

# 県北地域

資料1-2

県北地域の  
目指す  
方向性

豊かな自然や都市機能、交通インフラをいかし、地域経済を支える産業の振興や多彩な交流を通じた地域活性化を図るとともに、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。

## 主要施策1「誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり」

- ①・妊婦や子育て世代の相談対応
  - ・子育て世代包括支援センターの機能充実等
- ②・ふくしま県 GAP (FGAP) の推進、ふくしま HACCP の導入促進
  - ・県北地方ならではのブランド力の強化
- ③・悩みを持つ児童や生徒の相談に対する専門家による支援
  - ・障がいのある子どもたちが安心して学べる環境の充実
- ④・バランスの良い食生活、適度な運動、検診受診の普及啓発
  - ・地域や職場等での健康づくりの推進
- ⑤・保健・医療・福祉の教育カリキュラムの策定、効率的な教育体制の構築

### 主要施策の進捗状況 ○目的 ●実績 ◎成果・方向性

No	指標の名称	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	健康寿命 男性	目標値			73.28	73.57	73.86	74.15	74.44	74.73	75.02	75.31	75.60
		実績値	72.28										
	単位 (歳)	72.28			73.28								
	女性	目標値			76.25	76.45	76.65	76.85	77.05	77.25	77.45	77.65	77.85
		実績値	75.37										
	単位 (歳)	75.37			76.25								
16	福島県で子育てを 行いたいと回答した 県民の割合(意識 調査)	目標値			68.0	70.3	72.6	74.9	77.2	79.5	81.8	84.1	86.0以上
		実績値	61.8	67.1	65.7	61.4							
単位 (%)	61.8	67.1	65.7	61.4									

#### 【子育て世代包括支援センター支援推進事業】: ①

○市町村が設置するセンターの機能充実と妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築

●関係機関の情報交換会（令和5年1月 管内全市町村他9機関）  
市町村への個別相談対応

◎センター業務の適切な運営に資することができた。より市町村の実態に即した支援を行うため、市町村毎に訪問ヒアリングを実施する。

**【第三者認証GAP取得等促進事業】：②**

○産地の信頼回復・向上

●補助金交付 36件

認証GAP取得数 76件 (R4 R3比3件増)

◎補助事業の要件を緩和し、活用を促進するとともに、既取得者の維持・更新の支援や支援対象者の掘り起こしを行う。



FGAP ロゴマーク

**【スクールカウンセラー派遣事業】：③**

○児童生徒のいじめや不登校等の問題行動の早期対応・早期解決

●・スクールカウンセラー (小・中学校) 41名 (小学校 35校、中学校 40校)

相談件数 14,194件

・スクールカウンセラー (高校) 12名 (高校 17校)

相談件数 2,143件

・スクールカウンセラースーパーバイザー 2名

助言件数 小中学校 12件

◎カウンセリングを必要とする児童生徒の状況が多様化しているため、スクールカウンセラー等地区別研修会で情報共有と事例検討を行うなど、引き続き、対応の強化に取り組む。



スクールカウンセラーによる事例検討会

**【地域保健・職域保健連携による生活習慣病予防対策推進事業】：④**

○生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備

●・県北地域保健・職域保健連携推進連絡会開催 (2回)

・「元気で働く職場」応援事業モデル事業所への巡回支援等 (2回)

・健康経営、働きざかりの健康づくりに関する情報発信 (HPアクセス数前年比 2.6倍)

・働きざかりの健康づくり研修会 (ZOOM 開催)

参加者：65名 (R1比 1.3倍)



「元気で働く職場」応援事業

◎地域課題に即したテーマ設定やオンライン開催により、参加者が増えた。

引き続き、開催方法などを工夫しながら取組を推進していく。

**【食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業】：⑤**

○健康課題の解決や健康教育の充実

●医師等の専門家派遣

・小学校 5校、中学校 2校、教職員 1団体

◎肥満傾向児の出現率は、男女とも全国平均より高いことから、引き続き事業を推進。

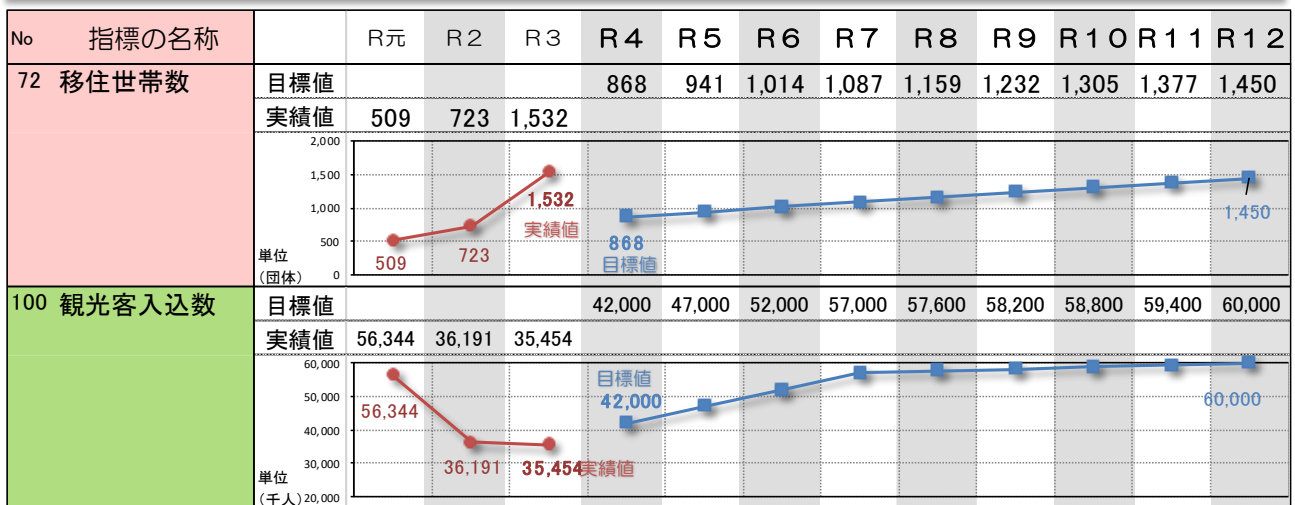
**その他の主な取組**

- ・ひとり親相談
- ・被災者支援事業 (子どもの健康支援事業)
- ・「ふくしま HACCP」導入推進事業
- ・ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業
- ・スクールソーシャルワーカー派遣事業
- ・特別障害者手当等給付事業
- ・障がい児 (者) 地域療育等支援事業
- ・切れ目のない支援体制整備事業
- ・「個別の教育支援計画」の作成と活用の促進
- ・食生活改善推進員育成支援
- ・新医師臨床研修・学生実習等

## 主要施策2「多彩な交流を通じた地域の活性化」

- ①・県北地方の文化や歴史などの「誇り」に光を当て、地域を元気にする住民主役の個性と魅力ある地域づくりを支援
- ②・ライフスタイルの多様化等を踏まえた移住・定住の推進
  - ・交通アクセスの優位性を踏まえた地域間交流による関係人口の拡大
  - ・小、中、高での県北地方の歴史・文化等の理解促進、地域コミュニティを担う人材育成
  - ・SNS や動画による四季を通じた魅力の発信
  - ・農作物の収穫などの体験メニューの充実、着地型観光の推進
  - ・外国人誘客の促進

### 主要施策の進捗状況 ○目的 ●実績 ◎成果・方向性



#### 【地域創生総合支援事業（サポート事業）】：①

○県民が主役となり個性と魅力ある地域づくりを推進

●民間団体や市町村等が行う地域振興の取組を支援

- ・補助件数 25 事業
- ・実績額 87,477 千円

◎地域の課題を踏まえ、地域の特性をいかしながら地方創生に寄与する取組を支援し、県北地域の振興につながった。引き続き、地域振興の取組を支援するとともに、事業周知の情報発信を強化していく。



音楽による  
福島まちづくり

#### 【定住支援カフェ事業】：②

○地域の人や団体とつながりを持ち、地域への愛着を深め、定住を支援

- ・ワークショップ 福島市：4回延べ39名、川俣町：4回延べ18名
- ・フィールドワーク（福島市、二本松市）福島市：10名、二本松市：11名
- ・フォローアップ座談会：7名

◎ワークショップを福島市と川俣町の2パターンで実施し、多く参加につながった。コースを拡充し、参加者の交流を深めるとともに、参加機会を増やす。



まち歩き（飯坂温泉）



### 【広域的連携による交流イベントの実施】：②

○隣接他県と連携し、近隣観光（マイクロツーリズム）の需要取り込みを図る。

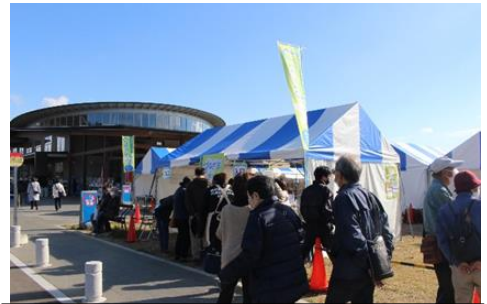
●観光や特産品等をPRする交流イベントを実施

・令和4年11月5日（土）～6日（日）

道の駅ふくしま

・来場者数：5,773名

◎集客が多かった飲食ブースを増やし、飲食・休憩スペースを設置するなどにより、更に多くの人へ地域の魅力をPRすることで、交流人口の拡大につなげる。



交流イベント「つながるフェスタ」

### 【親子で体験！里山の魅力ふれあいプロジェクト】②

○若い世代に過疎・中山間地域への愛着形成を図る

●・使い捨てカメラを使用した桃畑ワークショップ

参加者：親子9組21名

・オリジナルグラノーラづくり

参加者：午前の部8組（小学生12名、保護者9名）

午後の部8組（小学生10名、保護者8名）

◎ワークショップを通して、子ども達の地域の魅力への気付きや地域への愛着の形成につなげることができた。

引き続き、親子参加型のワークショップを通じて地域の魅力に触れる機会を増やす。



グラノーラづくり

### 【こらんしよ農家民宿・里山魅力向上事業】：②

○農村地域における人材の確保・育成や農業・農村の活性化

●・コロナ感染防止対策を踏まえた受入体験プログラムを再構築

・モニターツアー開催により、農家民宿での農業体験や意見交換会を実施。

実施日：12月17日（土）～18日（日）

実施場所：二本松市

参加者：首都圏の大学生等14名

・ツアー後、受け入れ先農家民宿、委託先旅行会社を交えた成果報告会を開催し、アンケート結果を基に改善策を整理（実施日1月24日）。

◎課題と改善策を整理し、一年を通じた体験ツアーの足かがりをつくることができた。今後は、女性の活躍による農山村地域の活性化を目指し、農村交流や地域作りで活躍する女性に焦点を当て、その成果を広く周知する。



農家民宿モニターツアー

### その他の主な取組

- ・移住コーディネーターによる移住相談対応等
- ・移住相談会、移住セミナー等の開催
- ・地域学校協働本部事業（地域学校協働活動の部・放課後こども教室の部）
- ・道徳教育総合支援事業（ピュアハートサポートプロジェクト事業）
- ・SNS等による情報発信
- ・県外教育機関と連携した情報発信

## 主要施策3「地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保」

- ①・輸送用機械・情報通信機械産業に加え、再生可能エネルギー、医療関連産業やロボット関連産業等の企業誘致、人材育成の推進
- ②・小学校段階からの継続的なキャリア教育の推進
  - ・県立高校における職業観や進路意識の醸成
  - ・地域で働くことの魅力の発信、地元への就職促進
- ③・新規就農者の技術習得、農地確保等への地域全体の支援体制づくり
  - ・先端技術導入による生産拡大、6次化推進などによる所得の向上
  - ・遊休農地の解消や防護柵の設置など、鳥獣被害防止対策の推進
- ④・経営者へのセミナー等を通じた創業・事業承継の促進
  - ・空き店舗を活用した起業支援等による商店街の活性化、地域の魅力向上

### 主要施策の進捗状況 ○目的 ●実績 ◎成果・方向性

No	指標の名称	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
233	新規就農者数	目標値			240	260	280	300	310	320	330	340	340	
		実績値	212	204	233	334								
260	新規高卒者の県内就職率	目標値			82.0	82.05	82.1	82.15	82.2	82.25	82.3	82.35	82.4	
		実績値	81.9	81.9	82.7	83.7								

### 【次世代産業担い手・つながりづくり事業】: ①・④

○地域企業の魅力や県北地方の魅力を発信し、人材育成と若者の定着を図る。  
地域企業とイノベ機構のつながりを支援し、イノベ構想の波及促進に努める。

#### ●親子体験バスツアーの実施

- ・ロボット体験コース（全2回）  
参加者：40名（親子20組）
  - ・空のお仕事体験コース（全2回）  
参加者：32名（親子16組）
- イノベ企業訪問バスツアーの実施
- ・ロボットコース・SDGsコース（各1回）  
参加者20社24名



親子体験バスツアー

◎親子体験ツアー参加者からは、地域企業に対する興味・理解が深まり、県内で働くことを意識したなどの満足度の高い声が多くあったことから、コース数の拡充及び参加人数の増加等を図る。また、イノベ企業訪問ツアー参加企業からは、イノベ構想への参入検討のきっかけとなったという声があったことから、今後は企業訪問による個々の企業のニーズ等を調査し反映する。

### 【専門高校生による小中学生体験学習応援事業】：②

#### ○児童生徒のキャリア教育の推進

- 講師校 福島商業高校・福島工業高校  
体験校 梁川小学校、平野中学校

◎引き続き、専門高校の生徒が講師となり、小・中学生の体験学習を行う。また、実施校数を増やし、高校生及び小中学生がそれぞれの体験を通じ、自己実現に向けた意識の向上が図られるよう取り組む。



高校での中学生体験学習

### 【県北地方人材確保・働き方支援事業】：②

○高校生に地元中小企業の魅力を伝え、若者の定着を図る。

- ハンドブック「ジモトヒカル」の作成・配布と掲載企業の紹介動画の配信  
・作成部数：5,500部

配布先：高校 22校（高校1年生及びその保護者）等

◎卒業後に就職を希望する生徒だけでなく、進学を希望する生徒に対しても情報発信ができた。引き続き進路に関わらず、全高校生等を対象とした内容とし、更にニーズに沿った掲載内容に充実を図る。

### 【ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業】：③

#### ○新規就農者の確保・育成

- 県北地方の新規就農者 96名（R4）

◎引き続き、県北地方新規就農者等確保・育成連携会議や新規就農相談会、新規就農者向け研修会などを開催し、新規就農者の確保育成を図る。また、新たに設置された福島県農業経営・就農支援センターと連携し、就農・定着から経営発展まで一貫した支援を展開する。



就農相談会

### 【6次化商品販路拡大事業】：③

#### ○地域産業6次化を推進

- 交流会や6次化商品チャレンジ販売会の開催  
県産くだもの等の消費拡大を目的とするフル活キャンペーンを実施  
・フル活キャンペーン応募者数 96名

◎引き続き、「けんぽく6次化ミーティング」の活動を支援するとともに、キャンペーンによる地域特産品創出活動を行う。また、SNSを活用して地域特産品の広報活動を強化する。

### その他の主な取組

- ・キャリア教育推進事業
- ・普通科における特色あるコース制推進事業
- ・次世代育成支援企業認証制度
- ・スマート農業プロセスイノベーション推進事業
- ・地域の力で進める！鳥獣被害対策事業



次世代育成支援企業認証制度



## 主要施策4「災害に強く、持続可能な生活を支える基盤の整備」

- ①・広域交流を促進する道路整備
  - ・地域連携道路の整備推進、地域の安全で円滑な通行の確保
- ②・危機管理型水位計等の設置、命を守る行動につながる分かりやすい情報発信
  - ・消防団員の確保など、地域防災体制の維持・強化
- ③・災害に強い社会基盤の整備
  - ・多面的機能（里山環境保全等）の維持・増進

### 主要施策の進捗状況 ○目的 ●実績 ◎成果・方向性

No	指標の名称	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
113	自分の暮らす地域は、自然災害や大規模な火災などに対して安心して暮らせる災害に強い地域だと回答した県民の割合（意識調査）	目標値			47以上	47以上	47以上	47以上	47以上	47以上	47以上	47以上	47以上
		実績値			47.1	48.0							
		単位 (%)											
271	交通ネットワークや情報基盤が十分整備された地域に住んでいると回答した県民の割合（意識調査）	目標値			38.5	42.0	45.5	49.0	52.5	56.0	59.5	63.0	66以上
		実績値	36.7	31.2	35.0	31.9							
		単位 (%)											

#### 【ふくしま復興再生道路整備事業（国道114号、国道349号）】：①

○安全で安心な車両交通環境の確保や  
利便性の向上

●ふくしま復興再生道路（県北管内）の  
整備が令和5年3月に完了

- ・国道114号及び国道349号

◎現道拡幅や急カーブの解消などにより、  
安全で安心な車両交通環境の確保や  
通行時間の短縮など利便性の向上が  
図られた。



ふくしま復興再生道路（国道349号大綱木工区）

#### 【広域的な連携・交流を支え県土の活力を高める道づくり（県道上名倉飯坂伊達線）】：①

○県北地域の自然豊かな地域資源を結び県内外の広域交流を促進

●現道拡幅やバイパス整備に必要な用地買収を進め、着工に向けての準備が進捗

◎東北中央自動車道へのアクセス道路として、福島大笹生IC周辺の県道上名倉飯坂伊達線（大笹生2工区）の現道拡幅やバイパス道路を整備する。

#### 【河川流域総合情報システム事業（命を守る情報発信の強化）】：②

○迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、情報発信を強化

●・危機管理型水位計設置95基設置完了（計画107基）

- ・河川監視カメラ設置58基設置完了（計画73基）

◎地域住民の避難判断や避難経路決定に有益な情報の発信強化に繋がった。引き続き、危機管理水位計を6基、河川監視カメラを8基設置する。

### 【浸水想定区域図の作成】：②

○迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、情報発信を強化

●浸水想定区域図 水位周知河川 15 河川すべてと小規模河川 1 河川の結果を公表  
新たに小規模河川 11 河川の区域図を作成

◎情報発信の強化が図られるとともに、市町村のハザードマップ作成に向けた基礎資料として供することができた。引き続き小規模河川 11 河川の公表に向けた協議と 3 河川の区域図を作成する。

### 【消防団員入団促進事業】：②

○消防団員の確保

●市町村、消防団と連携して、管内の 8 事業所に対して要請活動を実施

消防団員入団促進に係る消防庁作成ポスター、リーフレットを管内の事業所（約 3,700 カ所）等へ配布

◎関係者の情報共有と意識の高揚が促進された。  
引き続き、市町村、消防団と連携して、管内事業所等に対する要請活動や広報活動を効果的、効率的に実施する。



要請活動

### 【土砂災害防止対策事業】：③

○地震や豪雨等により発生する土砂災害から県民の命・財産、生活や経済活動等を守る

●要配慮者利用施設のある要対策箇所 42 カ所 (18 カ所は既に完了)のうち 5 カ所の対策工事のための測量設計と 2 箇所の対策工事を進めた。

◎引き続き要配慮者利用施設のある対策箇所 6 カ所の対策工事のための測量設計と 3 カ所の対策工事を進める。また、福島市の東八川の対策工事を進める。

### 【農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業、ため池整備事業ほか）】：③

○耐震性の向上、豪雨による決壊の防止、洪水調節機能の付与・増進

●大玉村大山の荒池において工事に着手（工期：R 4～R 6、R 4 は仮堤体の築立）

◎荒池において改修工事の進捗を図る（工期：R 4～R 6）。また、桑折町成田の成田溜池において事業に着手する。

### その他の主な取組

- ・ 地域連携道路等整備事業（国道 349 号 梁川バイパス）
- ・ 安全に安心して暮らせる道づくり（県道岡部渡利線 外）
- ・ 橋梁耐震補強事業
- ・ 河川災害関連事業（令和元年度台風）
- ・ 阿武隈川本川の背水対策（令和元年度台風）
- ・ 治山事業



背水対策事業（安達太良川）